

たいよう新聞

467号

12月10日発行

令和6年度

秋期研修会実施の様子



2024年10月19日、本社にて「令和6年度秋期研修会」を実施しました。研修対象者は入社1～2年目の若手社員。仕事の習慣やマナーについての実践的な学びや参加者全員による経験発表を通じて刺激を得られ、参加者同士の親交も深まった非常に有意義な研修会の様子をお伝えします。

当口進行役を務めた私がリポート!



静岡支店
Kさん

研修会概要

| | |
|--------|--|
| 実施日 | 令和6年(2024年)10月19日(土) |
| 会場 | 本社3階会議室 |
| 参加者 | 研修受講者9名 (2023年4月入社5名/2023年中途入社1名/ 2024年4月入社2名/2024年10月入社1名)、 代表取締役社長をはじめとする取締役・役員 |
| 主な研修内容 | ■育成講座=DVD『建設会社入社3年以内に身につけたい仕事の習慣、マナー』視聴 ■経験発表(各人10分) ■レポート作成 *研修後に懇親会を開催 |

研修会実施の経緯・目的

10年前から夏季研修会を実施

これまではその年の春に入社した新入社員を対象に、長野県千曲市にある研修施設で1泊2日の夏季研修会を開いてきました。入社から3～4か月が経過した7月終わりごろから8月頭のタイミングは、いろいろと業務がわかってきたところで「これ、難しいな」といった最初の壁に直面する頃合い。そのときに配属先が分かれた同期が再び集まって、経験や悩み、率直な気持ちを共有しながら、お互いを刺激し合い、親交も深めることを目的に行ってきたのです。

夏季研修会をブラッシュアップ

そして、コロナ禍を経て開催方法や時期を一度見直すことに。その結果、今回から「本社での単日開催」「開催時期を新入社員が現場を経験して少し経過した半年後=10月ごろへ変更」となりました。なお、今回の研修に2023年入社6名も参加したのは、「育成講座」で視聴するDVDのタイトルに『入社3年以内』とあったため。現場の経験を積み、現場責任者として独り立ちし始めるタイミングで、あらためて業務の習慣やマナーを学び直す良い機会になったと思います。

研修会の成果

経験発表が大きな刺激に!

各発表者が実際に行った業務や体験談を披露。「Aさんはもうこの作業も行っているのか!」と驚いたり「Bさんも同じ悩みを抱えているな」と共感したりと、全員が大いに刺激を受けました。そして、一番の仲間であり、一番気になる同期の活躍ぶりに「自分も頑張らなければ!」と気持ちを新たにできたのは非常に良かったと思います。

全員の頑張りを評価したい!

入社1年目メンバーの発表では、業務をまだ100%理解できないなりに、先輩についていながら見よう見まねで頑張る様子がうかがえました。入社2年目メンバーの発表では、お客様や協力会社の皆さんとコミュニケーションを取りながら責任をもって従事している姿を各自アピールできていて、順調な成長を実感できました。



研修会後の懇親会も貴重な交流の場に!

普段、若手メンバーの仕事ぶりを直接見る機会が少ない取締役や役員の方々にとっては、今回の経験発表、そして、懇親会は若手メンバーの頑張りを知る貴重な機会となりました。また、若手メンバーにとっても参加者全員と交流できて、非常に有意義な時間だったと言えます。

今後の研修会についての考え

若手メンバーに限らないのも一法

若手メンバーは「自分たちはここまで成長しました」と社内にアピールでき、先輩や上長、役員は「皆、頑張っているな」「こういうことを考えているのか」と若手メンバーのリアルな姿を知ることができる研修会。社内の誰にとっても非常に良い機会だとあらためて実感しました。今後も継続して開催していきたいと思います。また、若手に限らず、たとえば「入社5年目の世代」「マネジメントする立場のメンバー」などキャリア別に学びの場となる研修会を開いてみたいと考えています。



参加者した 若手メンバーの皆さんへ

最後に

業務に向かう正しい姿勢を身につけてほしい

研修で学んだ習慣やマナーを、早い段階で正しくしっかり身につけるのが重要です。そして、受け身ではなく、主体性をもって行動することも大切。そうして物事に対して、前向きに、積極的に取り組む姿勢が身につけば、実務面・技術面のスキルは自ずと後からついてきます。

同期の仲間は宝!

「皆さんの年頃の私はどうだったかな……」と、ふと振り返ってみました。すると、真っ先に思い浮かんだのは、同期や年齢の近い仲間と「今日の業務はどうだった」とか「この前失敗して今度はこうやろうと思うけど、どうなのかな」とか話をしてきたこと。また、仲間の頑張る姿を見て「自分も頑張ろう!」と奮起したこと。そう思うと、やはり同期の仲間は尊いものです!ぜひ皆さんも同期との絆を大切に、励まし合いながら成長し続けてください。

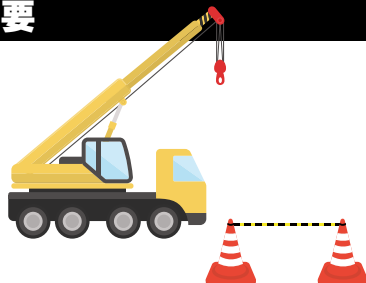
最前線レポート

西名阪自動車道 郡山下ツ道ジャンクション附帯工工事

太洋基礎工業が請け負ったさまざまな工事を紹介するこの企画。今回は高速道路貯水池での注入工事です。多くの機器を同時並行で稼働させる大規模現場を、スムーズに取り仕切った際の苦労をお伺いしました。

現場概要

| | |
|--------|------------------------------|
| 施工期間 | 2024年1～10月 |
| 場所 | 奈良県大和郡山市 |
| 発注者 | 西日本高速道路株式会社様 |
| 元請会社 | 株式会社仁木総合建設様 |
| 一次下請会社 | 太洋基礎工業株式会社 |
| 施工体制 | 太洋基礎工業株式会社2名 他10～12名 |
| 施工目的 | JCT近くにある貯水池を掘り下げる工事に伴う治水注入工事 |



大阪支店 工事部

Aさん



現場の特徴

3台のパーカッションドリルを動かす大規模現場

今回の現場は、高速道路のジャンクション近くにある貯水池。大雨になるとオーバーフローしてしまうため、掘り下げる工事に伴って治水注入することが目的でした。この工事では、ダブルパッカー工法を使用して注入作業を行い、削孔数が多いため、3台のパーカッションドリルをフル稼働させる大規模な作業に。また、貯水池へ降りる通路にも注入箇所があり、水路内での作業が中心となるため、ぬかるみなど足元が悪い環境での作業には特に注意を払いました。

苦労した点と乗り越え方

別の現場での経験がスムーズな進行につながる

注入セット数が非常に多く、調整に苦労した印象です。注入作業のために16台の機器をフル稼働させながら進めなければならず、材料や機器の管理が大変でした。また、排水処理も同時に進行しており、薬剤のPH処理には30㎡、25㎡、20㎡の水槽を用意し、常に処理作業を続けなければなりません。工事が進むにつれて、人員配置や進捗管理など常に周囲への割り振りを考える必要がありました。以前、別の現場でハイグリップグラウト工法を担当した際に、32セットを動かした経験が活かされ、スムーズな進行ができたと感じています。



次の現場に向けての意気込み

大阪支店では、多種多様な現場の経験を積んできました。今後もさまざまな工事に携わり、幅広い工事経験を積むことで、すべての工種のエキスパートを目指していきます。



声援

座右の銘は『あわてない、あわてない。ひとやすみ、ひとやすみ。』

『一休さん』のアニメの中の言葉です。何をやるにしても思ったことをすぐに行動せずに、先の先の先まで考えてから行動するようにしています。部下にも、毎月の会議で何度も話していることです。正しいと思ったことが、間違っている場合もあります。気づかないまま動けば、間違った方向性にどんどん突き進んで大きなミスにつながる可能性もあります。具体的な取り組みとして行っているのは、行動のフローチャートを書くこと。行動Aではその先どうなるか、行動Bではその先どうなるか、と考える時間をつくるようにしています。

社内外でつながる人や仲間が私の仕事のモチベーション

モチベーションは、完成の喜び、目標達成の喜び、利益を上げる喜びがあります。どれも自分一人ではできないことです。そのため、上司や同僚、一緒に働く作業員など、何でも話せる仲間をつくる、施工業者や元請会社の方には、太洋基礎工業と仕事をして良かったと思われるような仕事をする。このような取り組みが、モチベーションアップにつながっていくのだと思っています。若い皆さんは笑顔を決やさず話し合える仲間をいっぱいつくってください。東北営業所には家族のようなたくさんの仲間たちがいます。



東京支店副支店長 兼 東北営業所所長
Oさん

Taiyo Report

たいようレポート

令和6年度建設業年末年始労働災害防止強調期間

スローガン

「無事故の歳末
明るい正月」

年末年始は長期休業前の忙しい中での作業や、休日後に生活リズムが戻らない中での作業が行われると労働災害が増加する懸念があり、事故防止に特別な配慮が必要です。

労働災害の防止を目的に、令和6年12月1日から翌年令和7年1月15日までは「建設業年末年始労働災害防止強調期間」となっております。経営トップ、建設現場での管理者などの関係者は緊密な連携を図り、安全衛生水準の一層の向上を目指し、安全衛生活動の強化を図ることがこの期間の目的です。

皆様も安全管理を徹底し、明るい年末年始を迎えましょう!



インフルエンザに注意しましょう

これから、インフルエンザが流行する季節です。個人の感染対策をしっかりして、健康に冬を乗り切りましょう。

インフルエンザに感染するまで……

感染

潜伏期間1~3日
※この間は、症状がなくとも周囲に感染させる可能性があります。

発症
約1~2日

発症すると38℃以上の高熱、頭痛、寒気、筋肉痛、関節痛、だるさ、食欲不振などの**全身症状**がみられます。発症から6時間経過していると、インフルエンザ検査が正確に行えます。

約1週間

全身症状のあとは鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳などの**呼吸器症状**がみられます。

軽快

治るまでは**1週間~10日程度**です。
※個人差あり

感染を防ぐためのポイント

- 人が多く集まる場所では**マスク**を着用し、**うがい・手洗い**を徹底する
- 栄養と休養を十分にとる
- 室内での加湿・換気をよくする

空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなります。これは喉や鼻の粘膜の防御機能が低下するためです。湿度は**50~60%**が適切です。

